

令和4年度第2次補正  
探究的学習関連サービス等利活用促進事業費補助金

# 探究的な学び支援 補助金2023

## 効果報告レポート

【事業者名】

株式会社エル・インターフェース

【サービス名称】

カレパス探究

【サービスの機能分類】

区分A-1 メインサービス

2024年1月



“課題探し”をサポートし

“探究学習の基礎力”を身につける

カレパス  
探究

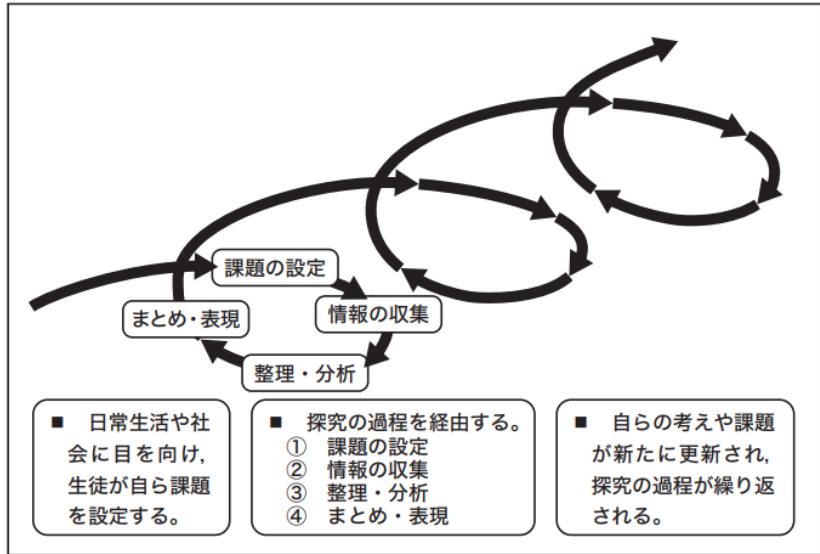
CollegePathway

「カレパス探究」サービスの紹介

総合的な探究の時間の目標の主旨として、「生徒は、①日常生活や社会に目を向けた時に湧き上がってくる疑問や関心に基づいて、自ら課題を見付け、②そこにある具体的な問題について情報を収集し、③その情報を整理・分析したり、知識や技能に結び付けたり、考えを出し合ったりしながら問題の解決に取り組み、④明らかになった考えや意見などをまとめ・表現し、そこからまた新たな課題を見付け、更なる問題の解決を始めるといった学習活動を発展的に繰り返していく。」とあります。

(引用：高等学校学習指導要領(平成30年告示解説 総合的な探求の時間編))

探究における生徒の学習の姿



①の課題の設定時に、様々な知識、情報があることが望ましいと考えられますが、近年、インターネットの普及やスマートフォンなどが一般化したことで子供たちが新聞など多様性のあるメディアに触れる機会が減少しているといわれています。

本来、幼いころには様々な体験をすることで「なに?」「なぜ?」といった興味・関心が増加していくところですが、スマートフォンの画面内では**個人の趣向を優先する仕組みが組み込まれているため、世界観を広げるチャンスをなくしてしまっている**と思われる。

「カレパス探究」では、新聞記事を通して社会の様々な出来事や課題を知るきっかけづくりをサポート！

## 「カレパス探究」サービスの紹介



カレパス探究は、生徒自身が自分なりの課題を見つけ、  
分析・解決していく力を育む、探究学習のオンライン教材です

朝日新聞に掲載された過去1年分（複数年も可）の150もの新聞記事とその記事に対する内容理解の小テスト及びワークシートを収録。  
新聞記事とワークシートを組み合わせることで、生徒一人一人が世界で起きている事象を知り、自分の興味のある分野を見つけ、課題の設定、分析・解決していく力を育むことを目指します。

### 過去1年分の厳選された新聞記事とワークシートで課題を発見・設定

カレパス探究は過去1年分（複数年も可）の新聞記事とワークシートを全ていつでも利用可能です。  
多くの新聞記事を読み解いていくことで、自分なりの課題を見つけていくことのできる環境を提供します。

エル・インターフェースでは学校様がオンライン学習をスムーズに進められるよう、先生方へのシステム操作説明や受講者の登録サポート、テンプレートの拡張なども支援しています。

### 『カレパス探究専用テンプレート』で情報収集と分析力を身につける

『カレパス探究専用テンプレート』は、設定した課題について情報を収集し、整理・分析し、その結果をまとめて発表することをサポートします。

### 『探究ボックス』でクラスやグループの意見交換・成果を発表

クラスやグループでお互いの学びや意見を交わす『探究ボックス』は、他者の多様な意見を知るきっかけとなる場と、自分の意見を他者にわかりやすく伝える発表の場を提供します。

## ■学校等教育機関の課題と解決策

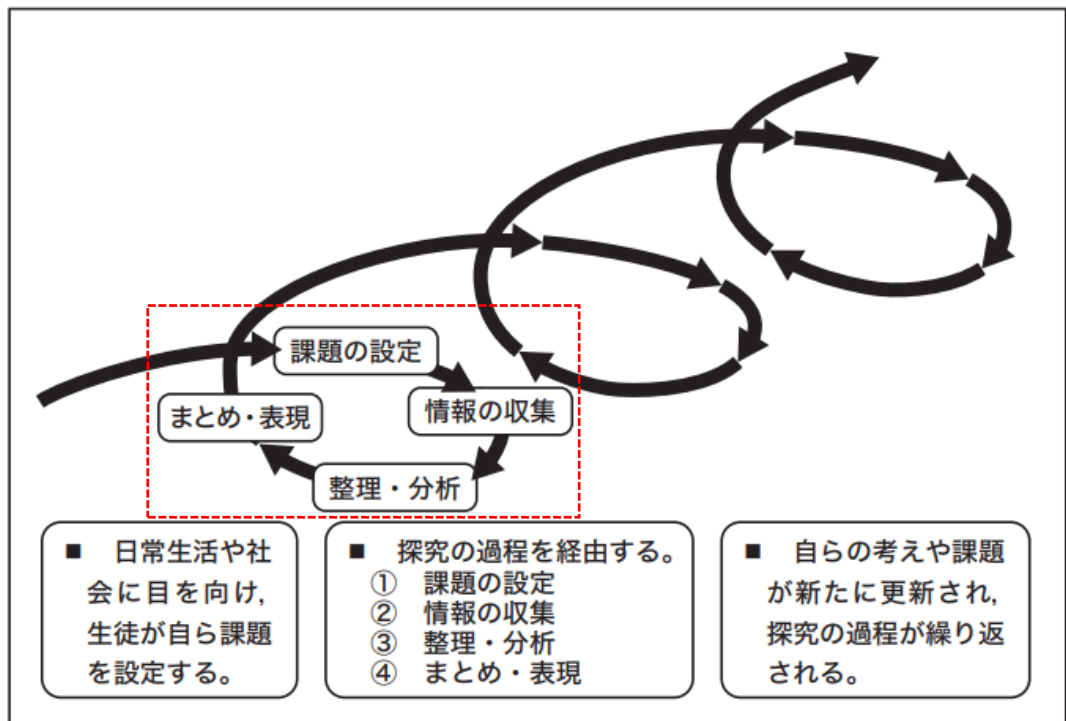
### 「カレパス探究」を用いた課題と解決策

探究学習では、学習者の「日常生活における課題」や、「興味関心」を課題とすることで、モチベーションを高めたり、効果を実感しやすくなるものと考えています。

一方、多様な目的に即した情報源を準備することは容易ではなく、また、専門外の分野であることも多く、先生方としては不安を抱えていらっしゃるかと思っています。そこで、本サービスでは、社会と密接に関連した、時事ニュースをターゲットとした情報源をパッケージ化し、学内で自由に活用できる素材システムを開発し、オンライン上で情報を閲覧できるシステムを準備いたしました。

このシステムを利用することで、探究学習のサイクルの基礎を身につけたり、世の中でどのような問題が発生しその問題を解決しようとしているのかなどの事例を知るきっかけを提供していきます。

### 探究における生徒の学習の姿






# ■ 探究的な学び支援補助金における活用場面

## 「カレパス探究」における探究学習のすすめ方

「カレパス探究」では、学習指導要領解説にある①【課題の設定】、②【情報の収集】、③【整理・分析】、④【まとめ・表現】を支援する仕組みを搭載しています。課題の発見や基本的なスキルの習得から始められるので、探究学習をスムーズに進めていくことができます。



<p><b>Step1</b> 探究を行う準備をする 探究の基礎を身につける</p>	<p>生徒一人一人が、自分の興味ある社会課題を見つける。記事や図表を読み解いて記述式問題に答えたり、自分の意見をまとめて、読解力と情報活用能力を向上させる。</p>	<p>新聞記事 ワークシート</p>
<p><b>Step2</b> 探究を行う (課題の設定・情報収集)</p>	<p>探究を行う課題を設定し、その社会課題は、現在どのよう に進展し、改善されているのか、といったその後の情報を 収集する。</p>	<p>カレパス探究専用テンプレート</p>
<p><b>Step3</b> 探究を行う (整理・分析)</p>	<p>『カレパス探究専用テンプレート』でSTEP2で収集した情 報の整理・分析を行う。 『探究ボックス』でクラスのメンバーと意見を交わし、多 様な意見を知る。</p>	<p>カレパス探究専用テンプレート 探究ボックス</p>
<p><b>Step4</b> 探究の結果を発表する (まとめ・表現)</p>	<p>最後は『カレパス探究専用テンプレート』に基づいて学習 結果をまとめて発表。 フォーラムや授業で発表し、自分の意見を他者にわかりや すく伝える発表の場とする。</p>	<p>カレパス探究専用テンプレート 探究ボックス</p>



# ■探究的な学び支援補助金における活用場面

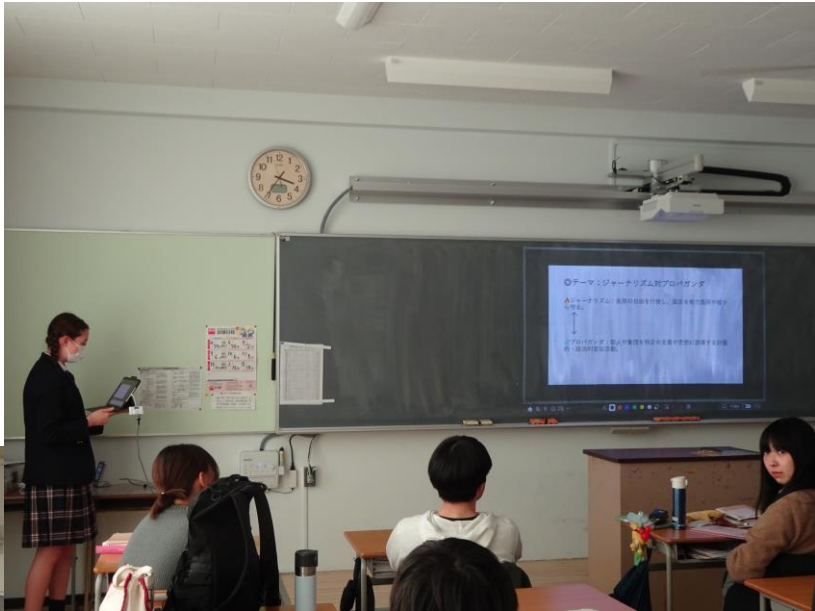
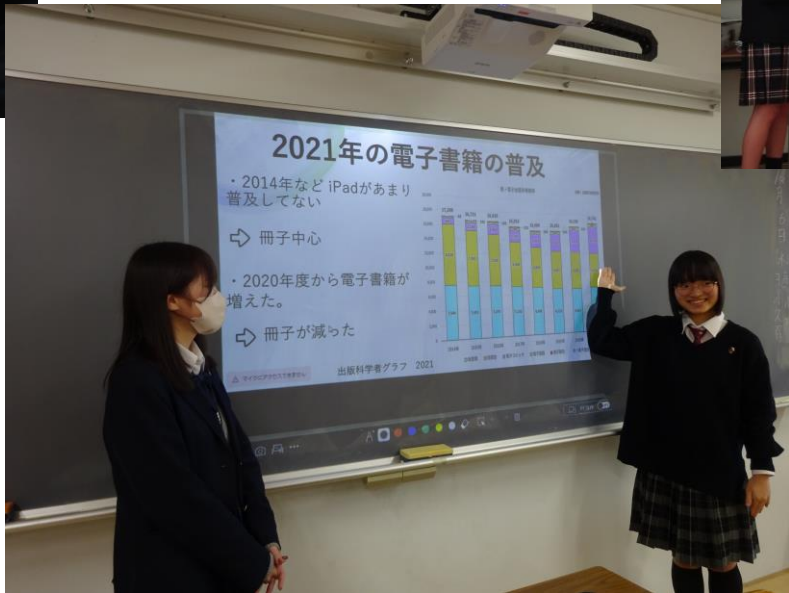
## 「カレパス探究」における探究学習のすすめ方 Step2~4



Step2・3  
同じ課題に興味を持つメンバーがグループを作り  
事例の調査や関連情報を収集・整理を実施

カレパス 探究	アンブレートK1	年 組	作成日
課題	どのような方法で調べたか <input type="checkbox"/> ネットで調べる <input type="checkbox"/> 周りの大人に聞く <input type="checkbox"/> 図書館で調べる <input type="checkbox"/> 他の新聞で調べる <input type="checkbox"/> その他 ( )		
理由 (興味を持った理由)			
事実を調べる WHERE (どこで)	他のメディア (新聞・TV・ネット) ではどのよ うに報道されていたか		
WHAT (何が)			
WHY (なぜ)			

情報整理のためのテンプレートサンプル

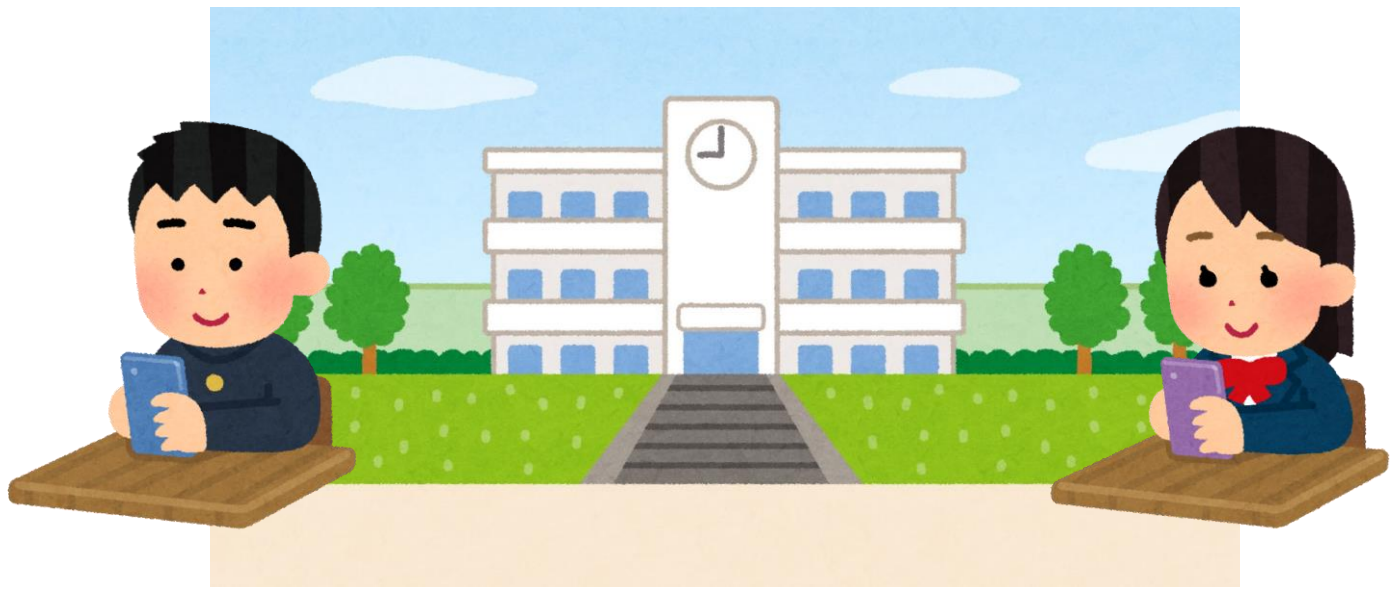


Step4  
グループで発表者を決め、まとめた情報をクラス内  
で発表しました。



学校設置者数と学校数

学校設置者数	5 団体
学校数	10校

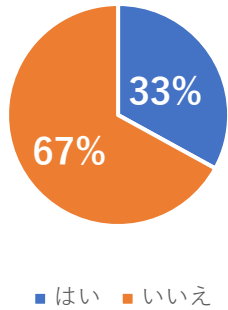




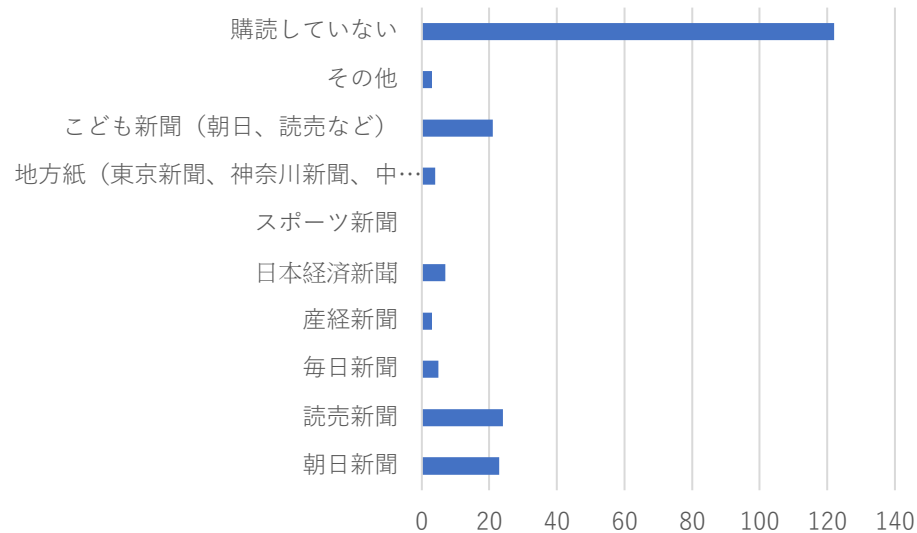
## サービス活用の成果（アンケート）

本サービスを提供するにあたり、学習者へのアンケートを実施しました。  
以下202名から得られた有効な回答データをもとに、情報を取りまとめています。

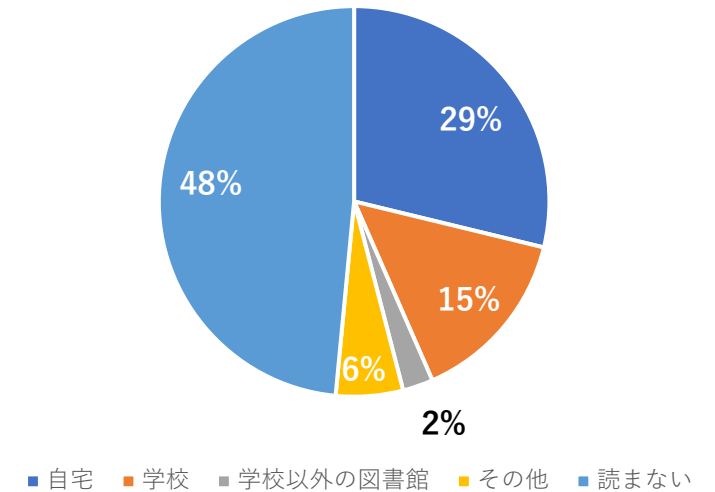
1. 現在、自宅で新聞を購読されていますか？



2. 購読されている場合、どの新聞を購読されていますか？  
選択肢に含まれるものすべてを選択してください。



3. 新聞を読む機会はどこが多いですか？1つ選択してください。

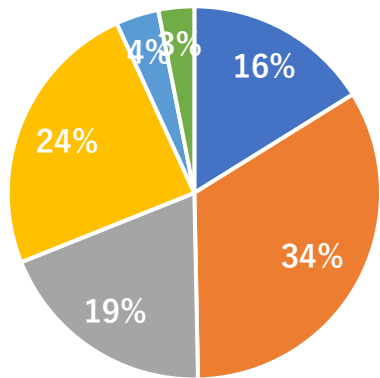


様々なメディアで新聞購読の低下などが伝えられていますが、アンケートの結果からもその事実を確認できました。また、新聞を読む機会として、学校での割合が比較的高く、学校での新聞閲覧の機会を高めることはこれらの情報に触れる機会を与えるには効果的ではないかと考えられます。

# ■探究学習等サービス活用による成果

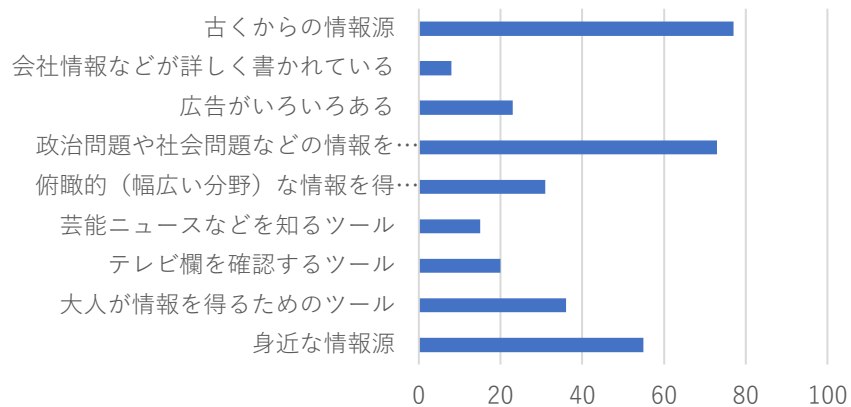
## サービス活用の成果（アンケート）

テレビや新聞、インターネットなどの情報を含め、1日当たり、どのくらいの時間ニュースなどを見ますか？

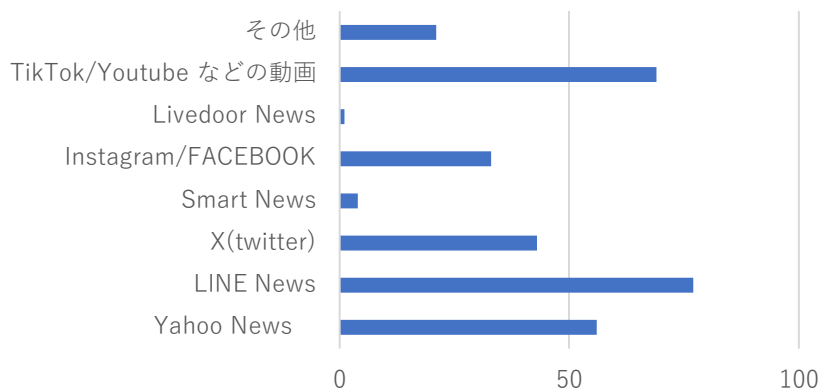


■ 5分未満 ■ 10分程度 ■ 30分程度 ■ 1時間程度 ■ 3時間程度 ■ それ以上

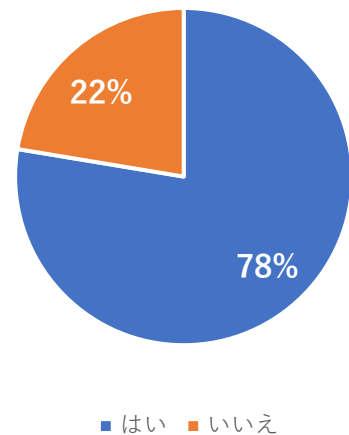
あなたは新聞についてどのようなイメージをもっていますか？1つ以上を選択してください。



インターネットの利用時によく使うニュース閲覧ツールは何ですか？



新聞のニュースはインターネットの閲覧で代替できると思いますか？



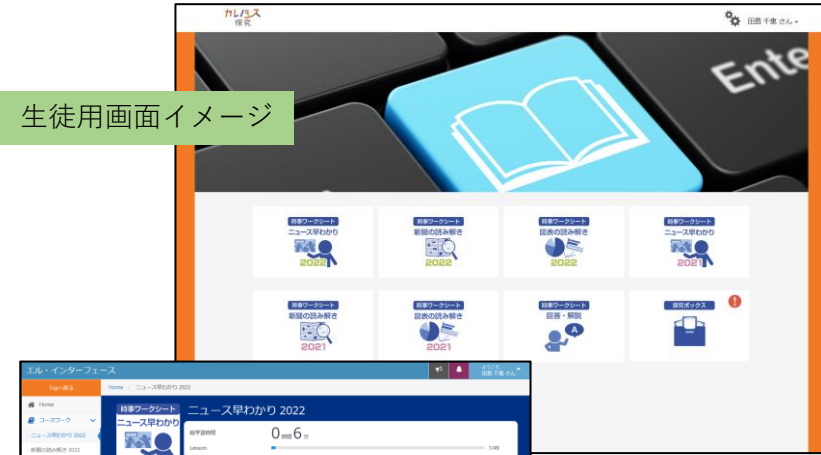
新聞というメディア自体にはネガティブな意見が多く、生徒たちは、実際、多くの情報をLINEニュースやYahoo/TikTok/YouTubeなどを通じて情報を収集している事実が見受けられます。また、新聞のニュースはインターネットの閲覧で代替できるとの意見が多く、生徒たちにとって役に立つツール（情報源）としては認知されなくなっているものと思われます。

しかしながら、ニュースなどを閲覧する時間は一定時間確保されており、情報を知りたいという好奇心自体がないわけではないため、生徒たちには、様々な機会を提供し続ける必要があると考えられます。

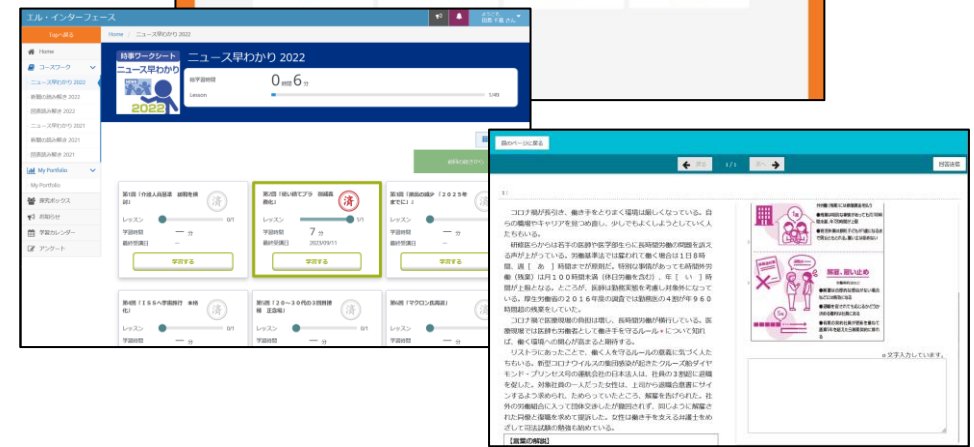
サービス活用の成果

教員へのサポート

<p>サービスへの参加</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習者登録や管理者登録などについては、学校の既存データをもとに、事務局でフォローを実施。</li> </ul>
<p>教材の配布</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材については、受講者登録と同時に、すべての教材アサインを実施。管理者はシステムにログインするだけでサービスを開始可能。</li> <li>・電子データに加え、一覧性のある、印刷済みの教材冊子を1部配布。</li> </ul>
<p>評価データの確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理解度テストなどは自動採点されており、簡単に進捗管理が可能。</li> <li>また、記述式のフィードバックについても、必要に応じて解説シートなどと組み合わせた対応が可能。</li> </ul>



生徒用画面イメージ



先生用画面イメージ

コース	教科	クラス	出席日数	進捗	習得率	終了	状態	操作
ニュース早わかり 2021	英語 (英語・リスニング)	デモクラス	20210402	8	1	2	受講者登録	教材登録
英語の読み解き 2021	英語 (読解・リスニング)	デモクラス	20210402	8	1	2	受講者登録	教材登録
英語の読み解き 2021	英語 (読解・リスニング)	デモクラス	20210402	7	1	3	受講者登録	教材登録
ニュース早わかり 2021	英語 (読解・リスニング)	デモクラス	20210405	11	0	0	受講者登録	教材登録
英語の読み解き 2021	英語 (読解・リスニング)	デモクラス	20210405	11	0	0	受講者登録	教材登録
英語の読み解き 2021	英語 (読解・リスニング)	デモクラス	20210405	7	1	3	受講者登録	教材登録
ニュース早わかり 2021	英語 (読解・リスニング)	デモクラス	20210406	11	0	0	受講者登録	教材登録
英語の読み解き 2021	英語 (読解・リスニング)	デモクラス	20210406	11	0	0	受講者登録	教材登録
英語の読み解き 2021	英語 (読解・リスニング)	デモクラス	20210406	11	1	0	受講者登録	教材登録



## 課題とその改善策

ここでは、本サービスを利用していただいた感想をもとに得られた課題と改善策についてまとめます。

No	課題	改善策
1	教材がたくさんあってどこから学習してよいか分かりにくい。	画面上にナビゲーション用のアイコンをもうけるなど、改善を図ります。
2	先生が記述式のコメントにそれぞれ対応するのは難しい。	現段階では未確定ですが、可能であればAIの機能などを開発し、記述式の問題回答に関するフォロー機能構築を検討したいと思っています。
3	ワークシートの使い方が分かりにくい。	今後、サンプルシートなどを準備するなどの改善を図ります。
4	1つの新聞社のデータだけでは違いが分かりにくい。	他の新聞社データを直接利用することは難しいため、参考サイトなどをまとめたヘルプページなどを提供していきたい。
5	学内に様々なICTサービスがあるので、1つ増えるだけでも管理が大変に思う先生が多い。	本サービスではシングルサインオンの機能も用意されているので、既存のサービスとの親和性が高いと思われます。ご要望をいただければ、既存のサービスとの連携を提供します。
6	年度途中からのツール導入のため、既存のサービスと被る部分があり、積極的に活用しにくい部分があった。	本格導入いただける際には、先生方には事前の説明会の提供や、一覧資料の早期配布などを対応します。
7	費用負担について、なかなか厳しいところがある。	価格形態については、今後ニーズを踏まえ、より利用しやすいものを検討していきたい。

## サービスに対するコメント（生徒編）

本サービスをご利用いただいた生徒さんたちより、以下のようなコメントをいただきました。



記事を参考に、関連の情報を調べてみたら、意外に身近なところでも、似たような問題が起こっていることが分かった。

ワークシートを活用することで、話題の内容を完結に表現するようなノウハウを知ることができた。


新聞はいままで、あんまり読むことはなかったですが、これからは、もう少し興味を持って読んでみたいと思いました。

新聞に書かれていることだけでは、わからないことも多いので、より多くの情報と比較することも大切だと思いました。




## サービスに対するコメント（先生編）

同様に、本サービスをご利用いただいた先生方より、以下のようなコメントをいただきました。



資料が豊富なので、子供たちが選択する情報をたくさん準備できてよかった。



子どもたちが主導して学習を進めることができ、想像した以上の議論や報告を知ることができた。

サービス開始のタイミングがもっと早ければ、もう少し授業に組み込みやすかった。

記述式の問題などをうまく活用できれば、小論文対策などとして、高校3年生も参加できるようになるかも。



学校法人向けEdTech製品（スーパー英語.com）一覽

企業名	株式会社エル・インターフェース
会社所在地	〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-18-20 代々木フォレストビル
代表取締役社長	高橋新悟
事業内容	ソフトウェア開発 ・ コンテンツ開発 Webシステム運用保守 ・ 教育支援サービス
主要取引先	学校法人：（順不同敬称略） 青山学院大学・立教大学・中央大学・法政大学・芝浦工業大学・ 東洋大学・日本大学・新潟大学・一橋大学・東京農工大学・ 埼玉大学・大妻女子大学・名古屋大学・滋賀大学・同志社大学・ 京都工芸繊維大学・大阪公立大学・熊本学園大学・佐賀大学・他 100校以上の国立・私立大学 官庁・企業：（順不同敬称略） ダイヤモンド社・朝日新聞社・KDDIグループ等
会社HP	<a href="https://www.l-interface.co.jp/">https://www.l-interface.co.jp/</a>
製品HP	<a href="https://www.supereigo.com/collegepathway/tankyu/">https://www.supereigo.com/collegepathway/tankyu/</a>
お問い合わせ	<a href="mailto:tankyu@l-interface.co.jp">tankyu@l-interface.co.jp</a>



小・中・高校向け

大学・短大向け



<https://www.supereigo.com/>



ISO/IEC 27001:2013 JIS Q 27001:2014  
 2019年6月 認証取得

※TOEFL/TOEIC/TOEIC Bridge/IELTSは各社の商標または登録商標です。（本資料では商標表示(TM,(R))は省略しております。）